

# 水道事業・下水道事業マスタープラン (2011~2021)



いつでも安心して使える  
止まらない水道・下水道

横須賀市上下水道局

表紙の写真（上から）

下町浄化センターと猿島

走水水源地の桜と富士山

大正時代の馬蹄形渠（現在の安浦町で使用）

逸見浄水場ベンチュリーメーター室（国登録有形文化財）

# 目次

はじめに .....	1
マスタープランについて .....	2
水道事業・下水道事業マスタープランの体系 .....	3
第1章 横須賀市上下水道局の経営理念 .....	4
第2章 マスタープランの策定に当たって .....	6
1 策定目的 .....	6
2 マスタープランの位置付け .....	7
3 計画期間 .....	7
第3章 事業を取り巻く環境の変化 .....	8
1 環境の変化の全体像 .....	8
2 個別の環境の変化 .....	9
第4章 マスタープラン策定の基本方針 .....	23
1 策定の条件 .....	23
2 「使いこなす」水道・下水道事業への再構築 .....	24
3 横須賀市上下水道局らしさを示す「DNA」 .....	25
第5章 マスタープランの全体像 .....	26
1 マスタープランの経営目標 .....	26
2 経営目標を達成するための政策と主な取組み .....	27
第6章 マスタープランにおける政策・施策の展開 .....	30
1 政策・施策体系 .....	30
2 各政策の施策概要 .....	31
3 横須賀市の水道・下水道の11年後の姿 .....	53
第7章 財政収支見通し .....	56
1 水道事業 .....	56
2 下水道事業 .....	57
巻末資料 .....	59
1 事業概要 .....	60
2 策定体制 .....	72
3 用語集 .....	78

注) 本文中に「※」がある用語は、初めて使用した場合は【用語解説】欄に、2回目以降は用語集に説明があります。



# はじめに

横須賀市の水道は、1908年（明治41年）に走水軍港水道の一部を有償により譲り受け、給水を開始しました。これは本市の市制施行の翌年のことでした。それ以来、100年以上にわたり本市の発展とともに増える水需要に対して、水源の確保や安定した給水に努めてきました。下水道は、1963年（昭和38年）に本格的な建設を開始し、その後40年余りでほぼ汚水整備が終わり、快適な生活を支える基盤となっています。

水道及び下水道は「水」が水源から川や海へと循環しながら、繰り返し使われている「水循環」に多くの部分で関わっています。この「水循環」を良好に維持し、次の世代へと引き継いでいくという、たいへん重要な役割が水道及び下水道にはあります。

また、2008年度に実施した市民アンケート調査によれば、市民の83.1%が、本市の魅力のひとつとして、「海や緑などの自然環境に恵まれている」ことを挙げています。この素晴らしい本市の自然環境を守り、次の世代へと引き継いでいかなければいけません。そのためにも、水道及び下水道が今後も役割を果たしていくことが必要です。

このたび策定しました「水道事業・下水道事業マスタープラン（2011～2021）」は、本市の今後11年間の基本的な政策・施策を体系的に示す「横須賀市基本計画（2011～2021）」の分野別計画として位置付け、国の水道ビジョン・下水道ビジョン2100との整合を図ることにより水道事業及び下水道事業の方向性を示しています。その経営目標の達成にあたっては、水需要の減少や施設の経年化、料金及び使用料収入の減少など、さまざまな課題があります。しかし、これらの課題を一つ一つ解決していくことが私の市政運営の基本的な姿勢としている「いつまでも住み続けたいと思うまちにしていくこと」につながり、目指すべき横須賀の姿である「水と緑に親しめるまち横須賀」の実現になるものと考えています。

まちづくりの原点は市民の皆さまの一人一人です。是非とも、皆さまのご理解とご協力、そしてご参加をお願い申し上げます。

2011年（平成23年）3月

横須賀市長 吉田 雄人

# マスタープランについて

上下水道局は、これまで快適な生活環境の提供と都市活動を支える基盤として、積極的に水道事業及び下水道事業を推進してきました。水道事業は1977年度（昭和52年度）には、ほぼ全世帯に普及し、2008年（平成20年）に給水開始100周年を迎えました。また、下水道事業も1963年（昭和38年）に本格的な建設を開始し、2005年度（平成17年度）には市街化区域内のほぼ全世帯が下水道を利用できるようになりました。その結果、水道及び下水道は、施設を「造る時代」から「使う時代」へ、つまり「建設の時代」から「管理の時代」へ本格的に移行しました。

水道事業及び下水道事業を取り巻く経営環境は大きく変化しています。人口の減少や節水傾向、産業構造の変化による水需要の減少に伴い、水道料金及び下水道使用料収入の減少は、今後一層進み、財政状況は厳しさを一段と増すことが予想されます。また、お客さまに対する安定した水道水の供給や下水処理のためには、施設の維持管理・更新や大規模災害などを含む危機管理対策が必要です。さらに、公共用水域の水質向上や地球温暖化対策などの地球環境への配慮も求められています。

「水道事業・下水道事業マスタープラン（2011～2021）」は、上下水道局がこれら経営環境の変化に適時かつ適切に対応していくための基本的計画として策定したものです。今後11年間の上下水道局の経営目標を「いつでも安心して使える止まらない水道・下水道」とし、経営目標を達成するため「安全で安定した水道水の供給」、「きれいな川や海の創出と快適な生活環境の提供」、「地球環境への配慮」、「危機管理対策の強化」、「お客さまとの信頼関係の強化」、「経営基盤の強化」の6つの取組みを定めました。

上下水道局は、これまでの事業運営により培われた技術力や組織力を一層発揮するとともに、経営資源を最適に配分し、また、事業の公共性をかんがみて公営を堅持しながら、マスタープランで掲げた経営目標の達成に向けて挑戦してまいります。

お客さまにおかれましては、マスタープランをご高覧いただくとともに今後とも変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。

2011年（平成23年）3月

横須賀市上下水道事業管理者 岩澤 康浩

# 水道事業・下水道事業マスタープランの体系

**経営理念**（果たすべき使命）→ [第1章](#) をご覧ください

「横須賀市上下水道局は、お客さまの快適で安心できる暮らしと良好な水循環づくりに貢献します。」



**経営目標**（11年間で達成したいこと）→ [第5章](#) をご覧ください

いつでも安心して使える止まらない水道・下水道



**政策**（経営目標を達成するための6つの取組み）→ [第6章](#) をご覧ください

**1** 安全で安定した水道水の供給

**2** きれいな川や海の創出と快適な生活環境の提供

**3** 地球環境への配慮

**4** 危機管理対策の強化

**5** お客さまとの信頼関係の強化

**6** 経営基盤の強化

■ 水道事業 ■ 下水道事業 ■ 水道・下水道事業



**横須賀市上下水道局のDNAの継承・発展** → [第4章](#) をご覧ください

**Deep**  
深い（思考）

**New**  
新しい（取組み）

**Advanced**  
先進的な（事業）